

みかわまんざい にしお ごてんまんざい
三河万歳 (西尾の御殿万歳)

平成7.12.26 国指定

西尾の御殿万歳は、一般に「三河万歳」と呼ばれています。また、伝わった地名から「森下万歳」とも呼ばれています。他の万歳が門前で舞う門付け万歳の形をとるのに対して、西尾の万歳は座敷に上がり床の前で舞ったことから御殿万歳と呼ばれています。座敷で太夫と才蔵の2人に太刀持ち1人後見人2人の形態で演じることに特色が見られます。

万歳の起源は古く、約700年以上の歴史を持っています。江戸時代には幕府から優遇され、苗字帯刀や武家風の大紋の直垂が許されたといわれています。しかし、戦後は若者たちの万歳離れが進み、万歳は次第に衰微してきました。

昭和63年には地元の西尾市立西野町小学校に「御殿万歳クラブ」が作られ、この伝統ある万歳を受け継ぐべく練習を重ね、公演活動を行っています。

出演団体 西尾市三河万歳保存会

所在地 西尾市上町



おおじし こじし まい
大獅子小獅子の舞

昭和42.10.30 県指定



出演団体 半田市成岩第四区獅子保存会

所在地 半田市成岩本町

成岩の氏神である成岩神社祭礼に奉納される神楽獅子で、「大獅子の舞」と「小獅子の舞」の2つの対照的な性格の舞で構成されていて、ともに江戸時代中期には行われていた記録が残っています。

「大獅子の舞」はおおらかで優雅な舞で、乱獅子、花獅子、鳶獅子、剣獅子の4曲が伝承されています。大獅子には神の使いである白鷄の冠を被った「ささらすりの童子」が寄り添います。

「小獅子の舞」は急テンポな曲に乗り、龍が地をのたうつ姿や雲を呼んで天に昇らんとする姿を演じます。その姿が表すように、この舞には雨乞いの祈りが込められています。脇役として、おかめ・ひよっとこの「面能連中」が登場し、小獅子の舞を引き立てます。

はなまつり なかしたら はなまつり
花祭 (中設楽の花祭)

昭和51.5.4 国指定

花祭は、東三河の山里に鎌倉時代から伝わる伝統芸能です。祭りは夜を徹して行われ、いくつかの舞によって構成されます。その中の3つを紹介します。

花の舞は就学前から小学校中学年くらいまでの子どもが3人で舞います。花祭の舞の基本になる舞で、この舞を踊ることにより、子どもたちは花祭が大好きになります。

猿田彦命(神鬼)は、村内の家々を回って「へんべ」を踏み、人々の厄と大地の悪霊を払い、五穀豊穡、病氣平癒、村内安全を祈願する鬼として崇拜されています。

湯ばやしは、舞の終盤に手に持ったたわしで観衆に無病息災の願いがかけられた湯をかける勇壮な舞です。子どもの舞の総仕上げとして、中・高校生が舞います。

出演団体 中設楽花祭保存会

所在地 東栄町中設楽



みなみしたら

おうみ

南設楽のほうか(大海のほうか)

昭和36.3.30 県指定

出演団体 大海放下保存会

所在地 新城市大海

「ほうか(放下)」は放下僧と呼ばれた人たちが念仏を唱えながら踊ったことに由来すると言われていいます。「ほうか」は盆行事の1つとして、新仏のある家を訪れて踊ることに特色があります。

大海のほうかは、毎年8月14・15日に泉昌寺境内で行われます。背中に大団扇を背負い、締太鼓を胸につけた3人の踊手を中心とし、これに燈籠(露払い)、笛、鉦、ささらなどが行列を組んで泉昌寺に繰り込み、その境内ほかで勇壮に踊ります。

かつて使用されていた太鼓には、寛政2年(1790)から享和3年(1803)の裏書があり、この頃には村の盆行事として定着した様子がうかがえます。明治27年ごろ一時途絶えましたが、昭和7年に熱心な伝承者により復活しました。



しんしろかぶき

新城歌舞伎

平成9.9.22 市指定

出演団体 新城歌舞伎保存会

所在地 新城市字下川



新城の歌舞伎は、江戸時代以降、幾度か中断する等苦難の時期もありましたが、現在では若手を中核とした活発な活動をしています。平成14年度より後継者育成事業にも積極的に取り組んでおり、毎年教育委員会を通して、市内の小学校5～6年生を対象に子供歌舞伎を実施しています。

本日は『弁天娘女男白浪 - 稲瀬川勢揃いの場』を上演します。『白浪五人男』で知られているこの芸題、本名題は『青砥縞花紅彩画(あおとぞうしはなのにしきえ)』といひます。しかしこの名題でやる以上、五幕全部を通して演じないまでも、『浜松屋』と『勢揃い』だけの上演では意味がないので、五代目菊五郎以来、『弁天娘女男白浪』を使っています。

愛知県民俗芸能大会について

- この大会は、国、県及び市町村指定の無形民俗文化財等を順次公開し、その保存・伝承を図るとともに、民俗芸能への理解と認識を深めることを目的としています。
- 昭和48年度から開催され、前回までに51会場で実施し、延べ273団体が出演しました。
- 平成21年度の愛知県民俗芸能大会は、田原市と瀬戸市で開催する予定です。詳細につきましては、愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室までお問い合わせください。